

【例】〇〇 〇〇さんの気管内吸引マニュアル

作成日 月 日

必要な物品

吸引器 吸引カテーテル アルコール綿 水道水 ビニール手袋 カテーテル保存容器

手順

- ① 吸引器の作動の確認・吸引に必要な物品の確認をする。
- ② 実施者の手洗いと手指消毒をする。人工鼻をはずしておく。
- ③ 吸引カテーテルを排液びんにつながるチューブと接続する。
- ④ 吸引器の電源を入れ、吸引カテーテルの圧調節孔を親指で塞ぎ、十分な吸引圧がかかることを確認する。吸引圧は $-100 \sim -150 \text{ mmHg}$ ($-150 \text{ mmHg} = -20 \text{ kPa}$) となるように調節する。
- ⑤ アルコール綿で吸引カテーテルの半分から先端に向かって、ゆっくりと拭く。
気管内に挿入する部分に、直接手が触れないように注意する。
- ⑥ 圧調節孔から親指を離した状態（吸引圧をかけない）で、吸引カテーテルを「医師に指示された長さ」だけ、ゆっくり気管内に挿入する。
- ⑦ カテーテルを挿入した状態で、圧調節孔を親指で塞ぎ、吸引圧をかけた状態で痰を吸引する。
カテーテルはゆっくり回転させながら、ゆっくり引き抜き、吸引時間は $5 \sim 10$ 秒以内にとどめ、吸引中は児の顔色や表情を見ながら操作する。
- ⑧ 吸引後はカテーテル表面に付着した痰をティッシュなどで拭き取り、水道水を吸引カテーテルで吸い上げ、内腔を洗浄する。その後、吸引カテーテルをアルコール綿（⑤とは別の）で拭き、接続からはずして保存容器に片付ける。
- ⑨ 顔色や呼吸状態を確認し、痰の性状や量などを振り返る。